

2023年8月24日

三田会 各位

慶應連合三田会
会長 菅沼安嬉子

拝啓

猛暑続きの夏ですが、皆様におかれましてはお変わりなくお過ごしのことと拝察申し上げます。

慶應義塾高等学校野球部は、神奈川大会を勝ち進み、甲子園の全国高等学校野球選手権大会に出場を果たしました。

甲子園に行くことだけでもすごい事とされているのに、順調に勝ち進み決勝まで行くという快挙を成し遂げました。素晴らしいプレーの数々。もしかして優勝まで?という思いは皆様の胸によぎったのではないのでしょうか。その夢が叶いました。

初戦から慶應の応援席は群を抜いて満員でその応援はメディアが取り上げるほどでしたが、決勝戦の応援のすごさは甲子園始まって以来ではないかと思えます。

森林貴彦監督はエンジョイベースボールという理念で選手達をのびのびとプレーさせ選手たちもそれに答え、大応援団の力をもらい、ついに107年ぶりの優勝を果たしました。甲子園で応援した方も、行かれなくてテレビやラジオ、携帯で見守っていた方々も全員の応援の思いの総力を結集した優勝だったと思えます。本当にありがとうございました。

伊藤公平塾長は一番激戦区の神奈川大会を勝ち抜いたのだから、優勝すると信じたおられたそうです。決勝の22日は予定を入れなかったのに、台風で一日延期されたので決勝戦を甲子園で応援できなかったそうですが、塾長の監督と選手やスタッフ達を信じる力はきっと伝わったことでしょう。

私はこの素晴らしい慶應義塾の、強い団結力を持つ絆を心から誇りに思います。慶應高校野球部は私達に大きな力をくれました。その力で慶應連合三田会も益々強固な絆で活動していきたいと思っております。今後とも皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

敬具